

「国立女性教育会館研究ジャーナル」執筆要項

1. 書式

- (1) 原稿は、横書き（1頁全角40字×30行）とし、A4判の用紙（縦使い）に印字し2部を提出する。
- (2) 日本語を使用して執筆する場合は、原則として常用漢字、現代仮名づかいを用いる。
- (3) 句読点、括弧、各種記号等は、原則として全角1字分の扱いをする。
- (4) 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。

2. 図版・写真

- (1) 図及び表は本文中の適切な箇所に挿入し、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名および説明ならびに出典等を記入する。図表は、原則として一点を400字に換算する。
- (2) 写真は、写りの明瞭なもので、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、挿入箇所を指定するものとする。

3. 注・引用文献

- (1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号〔1), 2), 3)のように〕を記し、本文の末尾にまとめて記載する。
- (2) 本文又は注において文献を引用する場合は、引用箇所に〔著者名「姓のみ」 西暦発行年 コロン「:」 ページ〕を示す。

例 [井上 1990: 57-60] [Heritage 1987:240] [Goffman訳書 1963:150] 等

- (3) 引用文献（本文または注で言及した文献）は、すべて原稿の末尾にまとめる。
- (4) 引用文献は、原則として下記の方法により記入する。
 - ・文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - ・文献の記載は、著者名、西暦発行年、「論文名」、「書名・誌名」、巻・号、ページ、出版社名の順とすること。
 - ・欧文の書名、雑誌名にはアンダーラインを引き、原書の場合は著者名をアルファベットで記入すること。
 - ・外国語文献で日本語訳が存在する場合は、なるべく（ ）内に翻訳本に関するデータを添える。ただし、主として翻訳本に依拠する場合ないし翻訳本のみで依拠する場合は（原則として原典によるべきであるが）、翻訳本のみを記し、必要に応じて（ ）内に原典を記す。

例：論文の場合

宮本みち子 2006 「雇用流動化の下での家族形成」『家族社会学研究』第17巻 2号：29-39 日本家族社会学会
Trivers, R.L. 1974 "Parent-offspring Conflict", American Zoologist, 14:24-46

例：単行本の場合

斎藤 学 1992 『子供の愛し方がわからない親たち』講談社

Stern, D. 1977 The First Relationship: Infant and Mother, Harvard University Press, (岡村佳子訳 1979
『母子関係の出発—誕生からの180日』サイエンス社)

- (5) 原稿中の節番号、項目番号等の書き方は、下記の例に従うものとする。

例：1. 問題設定

- 1.1. 本論文の目的
- 1.2. 先行研究
2. 研究方法
 - 2.1. 調査の実施について
 - (1)調査方法
 - (2)調査対象